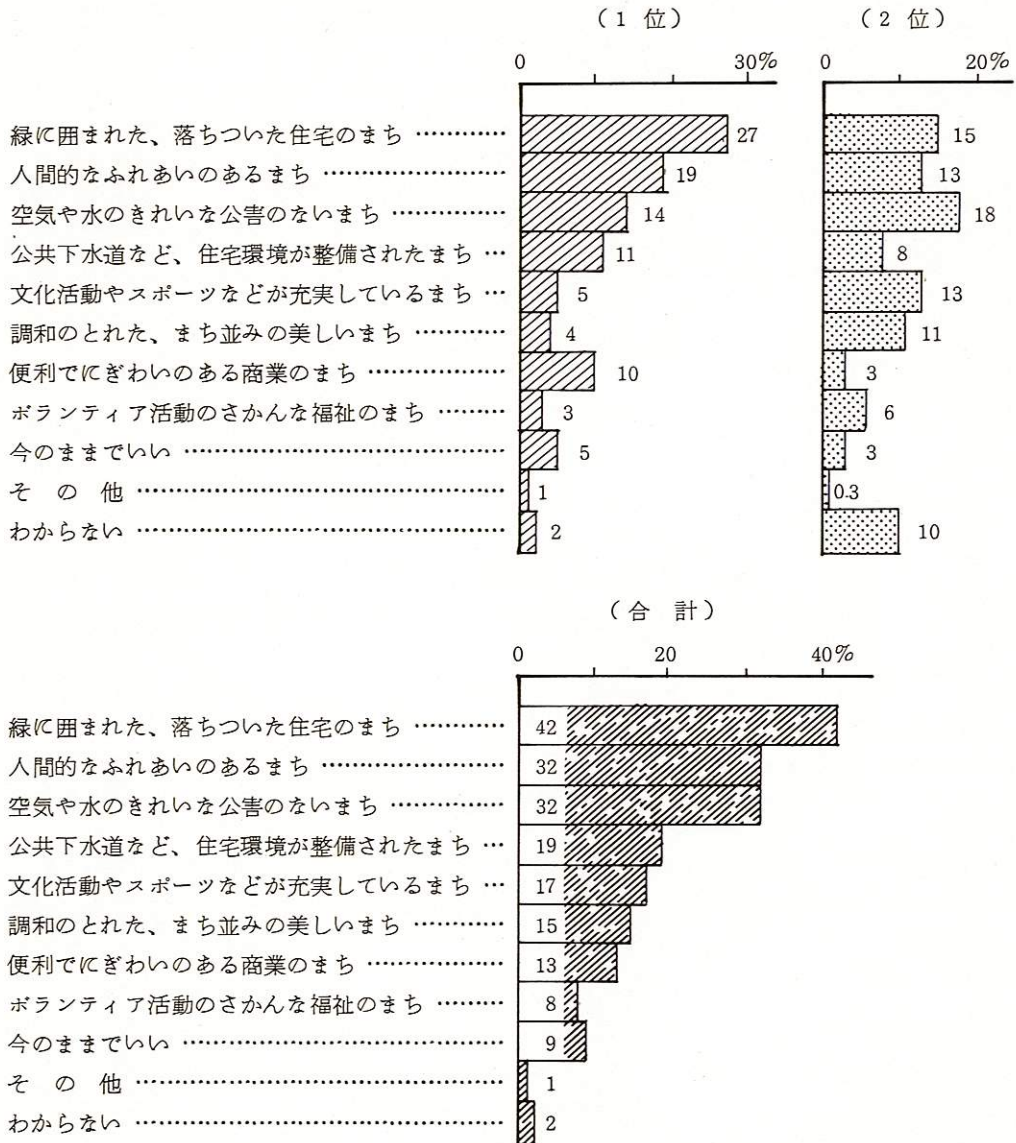


3. 福生市の将来像

3-1 将来像 …… 「緑の住宅都市」が1位

6. [リスト5呈示] ところであなたは、将来の福生市がどのようなまちであってほしいと思いますか。希望するまちに順位をつけて、2つあげてください。(M.A.)



福生市の将来像を順位をつけて2つ答えて貰った。第1位の質問であげられた回答のトップは「緑に囲まれた落ちついた住宅のまち」(27%)であり、田園的な住宅都市の志向が強い。第2位の質問であげられた回答のトップは「空気や水のきれいな公害のないまち」(18%)であり、快適な健康都市への志向も強い。第1位、第2位の2質問を全体的に把握するため、2質問の合計値により将来像の希望順位をみたところ、

1位の「緑の住宅都市」(42%)は飛び抜けて多いのに対して、2位は「公害のないまち」(32.4%)と「人間的なふれあいのあるまち」(31.9%)とがほぼ同率であって、ほとんど差はない。したがって、市民のいづく将来像は、先ず「緑の住宅都市」であり、次に公害のないことと人間的なふれあいを重視していると考えられる。

(表3-1) 地域別・性・年齢・職業別にみた「将来像・1～2位計」

		第1位 %	第2位 %	第3位 %
地域	A ブロック	住宅都市(39)	ふれあいのまち(33)	環境整備・文化(22)
	B "	"・公害(35)	— (—)	" (29)
	C "	住宅都市(53)	公害(40)	ふれあいのまち(31)
	D "	" (35)	ふれあいのまち(33)	まち並み(27)
	E "	ふれあいのまち(42)	住宅都市(37)	公害(35)
	F "	住宅都市(37)	公害(36)	ふれあいのまち(32)
	G "	" (58)	" (33)	" (29)
	団地 "	" (56)	" (35)	ふれあい・文化(25)
性	男	" (41)	ふれあいのまち(32)	公害(31)
	女	" (43)	公害(34)	ふれあいのまち(32)
年齢	20代	" (44)	" (33)	" (29)
	30代	" (52)	" (35)	" (27)
	40代	" (46)	ふれあい・公害(30)	— (—)
	50代	ふれあいのまち(42)	公害(32)	住宅都市(25)
	60以上	" (37)	住宅都市(33)	公害(30)
職業	自営・家族従業	" (40)	" (32)	" (28)
	事務・技術職	住宅都市(48)	公害(32)	文化(28)
	労務職	" (44)	ふれあいのまち(31)	公害(28)
	専業主婦	" (44)	公害(41)	ふれあいのまち(34)
	無職	ふれあいのまち(34)	" (32)	住宅都市(28)

属性別にみると、「緑の住宅都市」がほとんどの階層からトップの支持を得ている中にあって、高年層や自営者は、住宅よりも人間的なふれあいを重視している。また、高年層は家や周辺のたたずまいよりも中に住む人の心を大切に、人間的なふれあいのある連帯のまちづくりを望んでいるといえる(表3-1)。

将来のまちがどうあってほしいのかという構想(将来像)は、現在のまちの住み良さの判定によって変動している。あたたかな人間的交流を希望するひとは住み良さの満足度の高いひとに多く「非常に住み良い」ひとでは、43%と1位の支持を得ている(表3-2)。また、支持率は低い「今のままでいい」というひとと、住み良さの評価にしたがって漸増している。反対に住宅環境の整備されたまちを希望するひとは、住み良さの満足度の低いひとに多くなる傾向があり、公害のないまちを希望するひとと、満足度とほぼ反比例する傾向がある。

(表3-2) 住み良さ別にみた「将来像・1～2位計」

	非常に住み良い	まあ住み良い	普通	(非常に住みにくい やや住みにくい)
N	(61)	(395)	(279)	(62)
	%	%	%	%
便利でにぎわいのある商業のまち	20	14	11	15
人間的なふれあいのあるまち	43	32	31	26
緑に囲まれた、落ちついた住宅のまち	38	44	41	40
公共下水道など、住宅環境が整備されたまち	7	16	25	29
空気や水のきれいな公害のないまち	20	33	34	31
ボランティア活動のさかんな福祉のまち	8	8	7	16
調和のとれた、まち並みの美しいまち	20	13	17	16
文化活動やスポーツなどが充実しているまち	12	19	16	19
今のままでいい	18	8	9	5
そ の 他	—	1	0	2
わからない	2	2	1	—
(計)	185	190	191	198